

BASIC GOAL

02



基本目標 2

時代にふさわしい、
新たな産業と技術を活かすまちづくり

Town development that harnesses new industries and technologies suited to the times.



地域産業の活性化

時代にふさわしい、新たな産業と技術を活かすまちづくり

現 状	課 題
企業誘致と雇用創出 ● これまでに誘致した企業や新たな産業用地の整備により、雇用の確保と地域経済の基盤強化が進められています。	● 雇用は一定程度確保されていますが、若年層の地元定着や新規雇用機会の拡大が必要です。
農林業経営の多角化・グローバル化 ● 米や麦、果物、大豆、畜産、野菜、花き、種苗類、茶など多様な農産物が生産され、施設園芸や林業・木材産業も盛んに行われています。	● 高齢化や担い手不足、農地の減少、有害鳥獣被害による農林業被害など多くの課題を抱えており、持続可能な農林業の実現が求められています。
地域産業の振興 ● 商工会を中心に商工業の振興を図り、地域経済の活性化と、地域資源の掘り起こしを行っています。	● 地域産業の潜在力を活かしきれておらず、ふるさと納税返礼品の開発など付加価値化が課題です。
創業と持続的経営の支援 ● うきは市商工会とともに創業セミナーや創業塾を開催して創業希望者を支援するとともに、持続的な経営ができるよう事業者への支援を行っています。	● 若者の流出により地域人材が不足しており、高齢者や女性を含め多様な人材活用が求められます。



今後の取組	指 標	
● 交通利便性を生かした土地利用転換による新たな産業用地の整備や企業誘致を進め、地域内で安定した雇用機会を確保します。	工業団地等への累計誘致企業数（社）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	17	20
● 最適な作目や栽培方法、効率的な作業システムの導入と、高付加価値化や販路拡大に取り組むとともに、有害鳥獣による農林業被害対策の強化に取り組むことで、安定的な収益確保と農林業経営の強化を図ります。	農業産出額（億円）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	76.6	80.0
● 地場産品の高付加価値化や新商品開発を進め、ふるさと納税返礼品としても活用しながら全国へ発信します。	ふるさと納税寄附額（億円）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	4.7	6.0
● 創業・就業支援を充実させ、若者・女性・高齢者が地域経済で活躍できる体制を整えます。	令和8年度からの市内創業者数と事業承継支援者数の合計（件）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	0	125

5年後に目指す姿

多彩な地域資源を活かし、市と民間が協調しての産業の高度化やDX化、創業支援や人材育成を進めます。若年層や高齢者も活躍できる仕組みを整え、持続可能で魅力ある地域経済の発展を実現します。工業拠点を中心に産業の集積を促進し、新たな産業用地の創出を図ります。

地域資源の活用

時代にふさわしい、新たな産業と技術を活かすまちづくり

現 状	課 題
宿泊需要の拡大 ● 市内に宿泊施設が増加しており、宿泊施設を紹介するサイトの整備や宿泊者を対象としたキャンペーンの実施などに取り組んでいます。	● 福岡都市圏から1時間というアクセスの良さもあり観光入込客数は堅調ですが、多くの来訪者が日帰りでの滞在となっています。
文化財と歴史資源の活用 ● 屋形古墳群の整備や伝統的建造物群保存地区の町並み保全など、歴史文化を活かした観光振興を進めています。	● 歴史的建造物の所有者や行政組織を含めて長期的に持続可能な体制の構築が課題です。
自然環境を活かした取組 ● 森林セラピーや棚田オーナー制度など、自然や農業資源を体験につなげる取組が展開されています。	● 現在関わっている地域外の担い手も高齢化しており、自然環境を維持する担い手の確保が求められています。
観光データ活用と情報発信 ● 観光データの収集やデジタル技術を活用し、観光の魅力発信や効果検証に取り組んでいます。	● 観光データの効果検証や次の戦略立案への活用が十分ではありません。
観光事業者の協働促進 ● DMOを中心に、観光関連団体との定例による情報共有や意見交換を行っています。	● 定期的に情報共有や意見交換を行っていますが、効果的な新規施策や取組に繋がっていません。



今後の取組	指 標	
● DMOと連携し、平日やオフシーズンの集客の増加に取り組むとともに、宿泊者限定の商品開発などに取り組む事業者を支援します。	市内温泉施設の宿泊者数（人）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	30,454	33,000
● 地域と協働して古墳群や伝統的建造物群の価値が今後も損なわれることのないよう適切な保護と保存に努めます。	文化財保存整備率（%）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	34.4	41.4
● 外部の企業や人材を取り込むなど持続可能な体制の確保に努め、農地や森林など多様な自然環境の利活用や景観等に配慮した維持保全を図ります。	定期的に自然環境の維持に関わる外部の企業や人材数（組）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	7	10
● 観光データやデジタル技術を活用し、新たな誘客の取り組みやサイト・SNSでの発信強化を行います。	観光情報専用 SNS アカウントの総フォロワー数（人）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	3,011	10,000
● 宿泊事業者や交通事業者、観光ガイドなど様々な事業者や団体と連携して、来訪者の満足度向上に向けた効果的な取組を推進します。	観光満足度（%）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	66.1	70.0

5年後に目指す姿

豊かな自然や歴史文化、棚田や森林環境を磨き上げ、体験型観光や滞在型観光を推進します。文化財と歴史的風致を守りながら、市内事業者や地域と協働し、うきは市ならではの魅力を持続可能な仕組みで発信し、交流人口と地域活力の拡大を実現します。

雇用・人材育成

時代にふさわしい、新たな産業と技術を活かすまちづくり

現 状	課 題
基幹産業の担い手確保 ● 大学進学や企業への就職を機にした若い世代の都市部への流出傾向が続いています。	● 若年層や移住者の受け入れ等により、事業承継の取組や持続可能な労働力の確保が求められています。
人材の育成と地域への定着 ● 人口減少や都市部への人材の流出に伴い、人材不足が顕著となっています。	● 従業員への職業教育（OJT）や研修体制が充実しているとは言えず、人材確保や地域への定着を妨げる一因となっています。
職業紹介所の機能強化 ● 創業者支援や市の職業紹介所の整備により、市内に魅力的な事業所が増えつつあります。	● 産業構造の偏りにより、深刻な人材不足が発生しています。
多様な働き方の推進 ● 多くの事業所では、短時間勤務や副業などの新しい働き方に対応し得る柔軟な雇用体系が整っていません。	● 従業員のライフステージやニーズに応じた多様な働き方が未整備で、女性や高齢者の活躍が制約されています。



今後の取組	指 標	
● 地域において就職や創業など多様な働き方を選択できる労働環境の整備を推進します。	市内事業者の求人に関する支援（件）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	110	130
● 市内事業者の研修や採用力向上を支援し、持続的な雇用創出を後押しします。	市内の研修実施事業者数（者）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	—	10
● 創業者支援を継続的に実施し、労働力不足が深刻な分野に重点を置いて雇用確保や省人化の取組を推進します。	令和8年度からのうきは市無料職業紹介所が支援した求職者への紹介数（件）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	0	480
● 副業・兼業等に対応する制度を整備し、柔軟な就労環境を整える企業や事業者を支援します。	職業紹介所における子育て世帯の就職決定数（人）	
	令和6年度（実績値）	令和12年度（目標値）
	9	15

5 年後に目指す姿

地域に根差した雇用の場と多様な働き方が広がり、若者や女性、高齢者、障がい者など誰もが挑戦できる環境を整えます。市内事業者との連携を深め、就職や創業につながる支援を充実させ、地域で稼ぎ、学び、成長できるまちを実現します。

2-4

BASIC GOAL 2

移住・定住促進

時代にふさわしい、新たな産業と技術を活かすまちづくり

現 状	課 題
移住支援体制の強化 ● 移住に必要な「住まい」と「仕事」について、移住相談窓口設置を整備して受け入れる体制を整えています。	● 移住希望者へ紹介可能な空き家が不足しており、移住を進めるうえでボトルネックとなっています。
空き家の利活用の推進 ● 空き家の劣化が進み、居住に適さない物件も多く、活用や除却の仕組みづくりが進められています。	● 空き家が流通するように流動的な空き家対策が必要ですが、体制の整備が不十分です。
地域おこし協力隊の定住促進 ● 総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、隊員の定住や地域活動への参加促進に取り組んでいます。	● 地域おこし協力隊の定住率は、全国平均よりも高い状況ですが、今後も定住率の向上が求められます。
移住者向けの情報発信強化 ● 移住相談窓口やホームページ、イベント等で移住支援金制度や空き家バンク制度の情報を提供し、情報発信に努めています。	● 一部の自治体と比較して、財政支援や相談体制が相対的に充実しておらず、移住する動機とならないケースもみられます。



今後の取組	指標	
● リフォーム補助金の見直しや、Uターン者を対象にした実家の改修補助を検討し、UIJターン者の受入を推進します。	リフォーム補助金を活用した年間 U・I・J ターン者数 (人)	
	令和6年度 (実績値)	令和12年度 (目標値)
	3	5
● 空き家対策の体制を整え、空き家を市場へ循環させて活用を促す流動的な空き家利活用を促進します。	市の補助金を活用した空き家利活用件数 (件)	
	令和6年度 (実績値)	令和12年度 (目標値)
	8	10
● 地域おこし協力隊の活動を支援するとともに、任期終了後を見据えた隊員の定住支援を強化し、任期後の定住率向上を図ります。	地域おこし協力隊定住率 (%)	
	令和6年度 (実績値)	令和12年度 (目標値)
	64.0	70.0
● 専門の協力隊員の登用やふるさと回帰支援センターとの連携を図りながら、首都圏からの移住希望者向けの情報提供を行います。	年間移住相談件数 (件)	
	令和6年度 (実績値)	令和12年度 (目標値)
	10	15

5年後に目指す姿

移住者を含めた全ての市民が地域に定着できる住環境や生活基盤を整備し、子育て世帯や若者からシニアまで多世代が活躍できるまちを実現します。空き家や住宅の活用も進み、移住希望者が魅力を感じる地域社会を形成します。